

【高学年ブロック】

『見立てる』

『言葉の意味が分かること』

日時 令和7年6月6日

学年・組 第5学年1組(30名)

単元

～文章の要旨をとらえ、考えたことを伝え合おう～

授業実践を終えて

(成果)

- ・要旨を捉えることが上達してきた。自分の考えを持つことができるようになってきた。グループ間の交流にも慣れてきて、他教科でも助け合いをしている場面が多くみられるようになってきた。
- ・「要旨」とは何かを知り、まとめるために必要な言葉や文を見つけることができるようになってきた。3人グループでの交流を行うことで、2人で1人の文章を読んでアドバイスをしあう経験ができた。
- ・キーワードをもとに、要旨に必要な部分を探することができるようになってくるとともに、必要な文章を取捨選択しようとする態度も見られた。また、交流を通じて自分の文章を訂正したり、相手にアドバイスをしたりできる児童も増えてきた。
- ・ペアでの推敲では、ポイントを示すことで子どもたち同士で推敲することができた。
- ・要旨をまとめる際には、キーワードとなる言葉(筆者の主張)を入れてまとめている児童が多く、前年度までの学習の中で説明文の構成をしっかりとらえることができていると感じた。

(課題)

- ・削れる言葉を見つけきれしていない。自分の考えに対して、理由に付け加えて、経験等を書くことができていない。全員ができていたら、もういいやといった、追及する姿勢は育ち切っていない。
- ・短くまとめるのが不安になり、いらぬ言葉をつけ足したり、何が大切かわからなくなってしまうことがあった。大切なことばを使って文章をまとめる経験がまだまだ必要である。
- ・必要以上に文章を書き足してしまい、文章がまとまりきらない児童もいた。また、教科書を写すだけにとどまる児童も多々いたので、自分の言葉で表現する練習も必要だと感じた。
- ・要旨をまとめる時に、主語や繰り返し書いている言葉をなかなか削ることができないので、事前におさえることができればよかった。

・ほとんどは筆者の主張に線を引いていたが、数名は違うところに線を引いてしまっていて要旨がちがうものになっていた児童がいたので、どうおさえたらいいのか今後の課題。

(授業者から)

課題や成果等は挙げていただけているので、割愛させていただきます。子どもたちは要旨をまとめていく活動の中で、筆者の考えを何度も読み、友達とも交流し、筆者の考えを何度も読み取っていました。表現される要旨には技能差はありましたが、何度も丁寧に読んでいく活動自体にも意味があったのかなと思います。丁寧に読み取った筆者の考えや主張に対して、自分の考えを示していくという活動を今後は取り入れていきたいと思いました。

授業参観シートより

・要旨を書く時のチェックポイントや色分け、教室掲示、ヒントカードなど、子どもたちが書く活動に取り組みやすくするための手立てが丁寧で素晴らしいなと思いました。

・「要旨をまとめる」とは筆者の思いに着目することであり、それを書く条件は、教師の裁量で良いということを知りました。

・「どういう力を身につけるのかを明確にする」ことが大切だなと思いました。何を書けていればAなのか、どこまでをもとめるのかがわからないと思っていましたが、そこを明確にした上で授業しなければいけないと感じました。

・削る勇気をしっかり伝えて、子どもたちと臨んだ要旨の授業を見させてもらっていて、とても明確で良かったです。究極の短文か、○字以上○字以下の制限を求めるか、筆者の表情が浮かぶようなものにするのか、どこに軸足を置くかで変わるように思いました。

